

氷川神社
社報 第三十二号

武蔵一宮



令和七年乙巳の年頭にあたり

令和七年乙巳の年頭にあたり、謹んで聖寿の万歳と御皇室の弥栄、国家の隆昌を衷心より御祈念申し上げます。また、氏子崇敬者の皆様には常日頃より当社に対し格別の崇敬をお寄せ頂き厚く御礼申し上げます。

御創建から二、四九七年となる本年の初詣は好天に恵まれ三が日あわせ二一〇万人の人出で賑わいました。

さて、昨年四月、伊勢神宮（神宮が正式名称）の大宮司には第六十三回式年遷宮の御準備について天皇陛下の御聴許を拝され、令和十五年の遷御に向けての御準備が正式に進められる事になりました。本年は、約三十にも及ぶ式年遷宮の行事や祭儀の内の、始まりのお祭りである山口祭が行われる予定です。日本国民の総氏神である伊勢神宮の最大にして、最重要な祭祀である式年遷宮の諸事業が無事に、恙なく進むよう念願致します。

大宮においては、大宮駅が開業一四〇周年を迎えます。〆鉄道のまち大宮〆は大宮工場なども含めた名称ですが、現在十二もの路線が乗り入れる規模の大きい大宮駅は、そのシンボルといえる存在です。

また、盆栽村も開村一〇〇周年を迎えます。〆盆栽のまち〆も大宮の特色で、地域の魅力の一つとなっています。コロナ禍から日常が戻り、国内外から多くの観光客が大宮にお越しになっています。

当社では、休憩所などを設え、氏子の皆様はもとより県内外からの崇敬者の皆様にも心地よく御参拝を頂けるよう境内整備を行っており、益々発展する大宮の、地域の魅力として様々な施設と協力して参ります。

結びにあたり、氏子崇敬者の皆様には、本年も氷川の大神様の御神徳により幸多き一年となりますよう、お祈り申し上げます。

御鎮座二千五百年に向けて



点灯式



神橋(三が日)



下向道(三が日)

当社は第五代孝昭天皇の御代三年に御鎮座以来、悠久の年月を経て、来る令和十年に御鎮座二千五百年を迎える事となります。これを奉祝周知するため、有志の方の御奉納により、約八五〇灯の提灯を献灯し、十一月三十日に点灯式を行いました。当社の献灯行事は、平成二十九年の明治天皇御親祭百五十年祭の奉祝に始まり、以後、上皇陛下の天皇御在位三十年奉祝、今上陛下御即位奉祝と重ねて参りました。

現在、計画をしております二千五百年祭の記念営繕事業としては社殿や舞殿等の耐震補強工事、楼門や廻廊等の漆塗りや銅板の葺き替え、二の鳥居の改修工事、参道整備、社務所と呉竹荘の建て替えなどがございます。実施は令和八年から順次となりますが皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。来る嘉節に向け、境内を整備して参ります。

祭事暦

当社では毎日の日供祭以外にも年間約七十の祭典を行い、謹んで御皇室の弥栄と国家安泰、五穀豊穰と氏子崇敬者の繁栄を祈願しております。

- 十月 一日 月次祭
- 九日 拔穂神事
- 十五日 献詠祭(兼題 鉄道)
- 十七日 神嘗奉祝祭
- 二十一日 朔瓶祭
- 十一月 一日 月次祭
- 三日 明治祭
- 十五日 献詠祭(兼題 重ね着)
- 二十三日 新嘗祭
- 敬神講社大祭
- 三十日 大湯祭前斎
- 十二月 九日 大湯祭本祭
- 十日 (十日市人出 約二十万人)
- 十一日 大湯祭後斎
- 誓詔祭
- 饗膳式
- 十五日 献詠祭(兼題 炭)
- すず払い
- 古神札焼納祭
- 大祓式
- 三十一日 除夜祭

神宮大麻を祀る意義

大麻とはお神札ふだの事で、神宮大麻は伊勢神宮のお神札を意味します。その土地の氏神様のお神札だけでなく伊勢神宮のお神札も祀るのは、伊勢神宮が国民の総氏神であり日本全国の特別な神社であるからです。地域の安全、繁栄のためには国が平穏でなければなりません。

神宮大麻が日本全国に広まったのは、平安時代末期に伊勢の御師と呼ばれた祈禱師が各地で祈禱を行い、その印として「御祓大麻おはぐたいま」を頒布した事に始まります。伊勢の御師は、各地で祈禱するだけでなく、全国からの参詣者の案内や、神樂奉奏、宿泊の提供なども行っておりました。特に江戸時代には「おかげまいり」などの伊勢詣が流行し、石碑や奉納額などが各村の神社に奉納されました。令和三年に埼玉県神道青年会が調査し刊行した『埼玉県の伊勢講』には、それらが約三千点に及んで掲載されています。伊勢の御師による頒布は、明治時代に廃止されましたが、明治天皇の思し召しにより、伊勢神宮から国民の家々に直接お頒ちわかされるようになり、現在は各神社を通して授与しております。

新嘗祭奉納者御芳名

(敬称略、順不同)

御米 島根氷川神社 野菜果物

島村功作 阿泉秀典

山口章一郎

はせがわいさお

大湯祭奉納者御芳名

(敬称略、順不同)

百味膳 三峯神社 御米 薄田守利

秩父神社 森田栄治

七里敬神講社 星野昇保

埼玉県南部 清水伸洋

漁業組合 清酒 株式会社 中村写真館

猟友会 株式会社 電成社

魚志やう 株式会社 丸三屋

(株)鯉平 (株)和泉空調設備

大和田 (株)武蔵野銀行

氏子中 大村庵

原田喜平 (有)西一

野口スポーツ (有)蒼竜社

蓮沼神明神社 海産物 平野貞祐

氏子中

大谷氷川神社

氏子中

竣工式



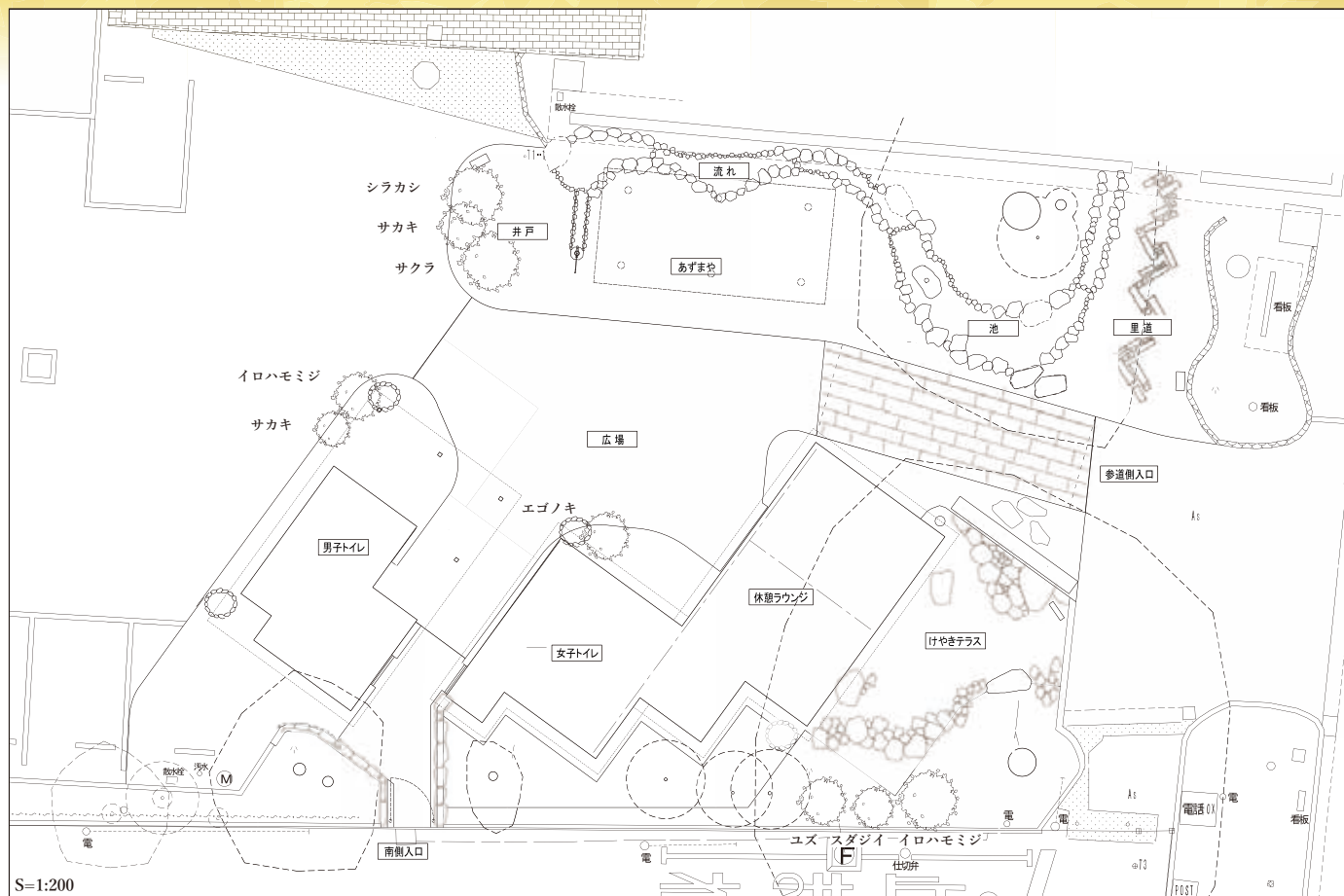
〴〵ゆうすいてらす〴〵 社務所前に竣工

十一月八日、社務所前に建設致しました参拝者休憩所や授乳室、お手洗い、東屋学まやや広場などの多目的施設である、〴〵ゆうすいてらす〴〵の竣工式を執り行いました。

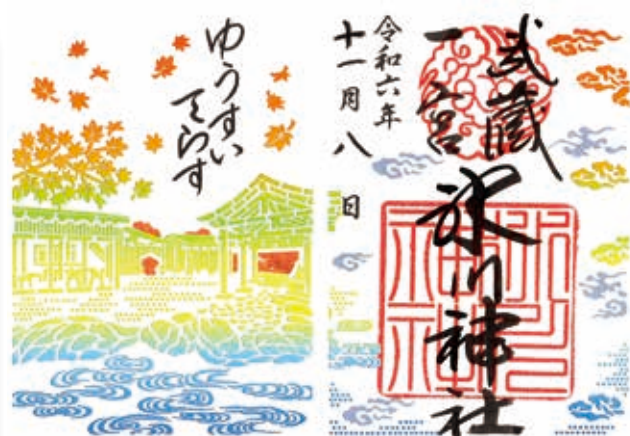
こちらの建設にあたっては、毎日興業株式会社の会社創立五十周年記念事業の一環としてお申し出を頂き、建設費用の一部奉納を賜り準備を進めて参りました。〴〵ゆうすい〴〵には、湧水、遊水、有水、結水、優水、勇水、由水、愈水、友水など様々な意味を持ち、水と混じり合う事で新しい融合が次々に生まれるという水の多様性を表現しております。また神道のお祓いでは水が用いられる事から鳥居の近くにある事と参道の脇に位置する事から聖と俗とを繋ぎつな合う境界線の役割も果たしております。実用的な面では、休憩所やお手洗いはもとより、水景として設置した井戸は、地下水を自ら汲み上げる手押しポンプ式で、平時だけではなく災害用ポンプとしても活用が可能です。

設計を担当されたAMP/PAM(アンパン)は「建築とランドスケープの調和」をテーマに、光や風、そして「水」の巡りを回復し、人々の憩いの場を生み出す事に繋がるよう設計されました。地鎮祭は令和六年三月十三日に斎行、施工は株式会社山崎工務店が担当致しました。竣工式には、毎日興業株式会社の田部井良代表取締役社長を始め、大野隆司総代会長など、二十一名の御参列を頂きました。

十一月三十日より本格的な運用を開始しておりますが、二月十一日の建国記念日にはオープンニングイベントを開催予定、更に三月三十日、埼玉県神社庁主催の教化事業「神主さんと神社を学ぼう」では広く活用される予定です。多くの皆様に幅広く御利用頂けるよう管理して参ります。



施設概要 参拝者休憩所
用途 休憩所・お手洗い・東屋
建築主 武蔵一宮氷川神社
企画監理 毎日興業株式会社
建築面積 104.81㎡
設計期間 令和4年11月～令和6年1月
施工期間 令和6年2月～令和6年10月
設計監理 建築：AMP/PAM Ltd.(アンパン)
 Park street studio
 構造：SCALA Design Engineers
 外構：アオイランドスケープデザイン
 タイプフェイス/サインデザイン：
 吉勝制作所
 コンセプト/プログラムディレクション：
 STAND
施工 株式会社 山崎工務店
 石積・植栽：合同会社 村田円芸



ゆうすいてらす
 竣工を記念して作
 成された切り絵デ
 ザインの特別紙朱
 印は、竣工式の
 十一月八日から授
 与を開始、十一月
 二十四日に授与を
 終了致しました。

額殿改修 〆氷川茶庭〆 竣工

十二月二十日、三の鳥居内の額殿の改修工事が終了し、氷川茶庭〆と名付けられ、新たな休憩施設に生まれ変わりました。竣工式は一月十六日に執り行う予定です。

こちらは、額殿をサイカンシテム株式会社に貸与し同社が改修工事を行い、休憩所として運営致します。額殿の印象を出来るだけ変える事が無いようにという要望の中で、もともとの額殿の資材を活かしつつ、耐震補強工事を行っています。また、氷川神社の名前に因んだ「水」と「氷」のイメージをデザインに取り入れる事で、歴史と現代が融合する空間造りを目指しています。

額殿に架けられた額は、奉納年代など様々ですが、年月の経過とともに風雨によって古い絵馬ほど判読が出来なくなってしまうています。判読出来るもので最も古いものは、明治四十二年の額で、他にも明治、大正期の太々神楽をあげた記念に奉納された額が残っています。

〆氷川茶庭〆も〆ゆうすいてらす〆同様、氏子崇敬者の皆様の憩いの場所となれば幸いです。同様に、氏子崇敬者の



額殿の建築年代は不明ですが、江戸時代には存在していました。明治四十一年には再建した記録が残っています。

右は、かつて発行されていた絵葉書で参道から手水舎と額殿を撮影したものです。こちらの手水舎は大正十二年の関東大震災で倒壊してしまい、再建される事はありませんでしたので、当時を知る貴重な資料となっています。

観月雅楽演奏会

十月十五日、本年は十三夜を選び、舞殿にて観月雅楽演奏会が開催されました。

演奏曲目

- ・神楽 豊栄の舞、浦安の舞
- ・舞楽 迦陵頻、萬歳楽、納曾利
- ・管弦 太食調 音取、長慶子



迦陵頻



萬歳楽

鳥居奉納奉告祭

十月二十四日、末社の稻荷神社に鳥居の奉納を頂いた株式会社柳沢ガーデン様御参列のもと、奉納奉告祭を行いました。



戦艦武蔵頭彰祭



十月二十四日午後二時、戦艦武蔵頭彰碑前にて、戦艦武蔵頭彰会会長の三原宏治様はじめ会員三十四名参列のもと戦艦武蔵頭彰祭を行いました。祭典中

豊栄の舞、甲飛喇叭隊のラップ演奏、出羽三山神社の元巫女で現在は演歌歌手の羽山みずき様により君が代・海ゆかばの独唱が行われ、祭典後は歴史学者の久野潤氏により艦内神社について講演が行われました。

特別紙朱印「紅葉」

十月二十六日より秋の特別紙朱印「紅葉」の授与を開始、十一月二十三日に終了致しました。



氏子総代研修旅行

十月二十八日から三十日まで氏子総代研修旅行を実施、二十三名が参加しました。本年は石川県、福井県、富山県、岐阜県を巡る研修で、越前一宮氣比神宮、越中一宮高瀬神社、櫻山八幡宮を参拝しました。また、永平寺や飛騨高山の合掌造り集

落、高山祭屋台会館などを見学しました。



浦和実業学園中学校職場体験

十月二十九日より三十一日まで浦和実業学園中学校の職場体験授業の一環で女子生徒四名を受け入れました。境内清掃や御札の授与の他、最終日には舞殿にて豊栄の舞を行いました。



武蔵菊花会奉納菊花展

十一月一日より十五日まで武蔵菊花会による第七十五回奉納菊花展が開催されました。楼門内外の廻廊や舞殿などに丹精込めて育てられた様々な菊、三百五十七鉢が展示されました。



大宮二十景入賞作品展示

十一月六日より十五日まで大宮区主催の「わたしの好きな大宮二十景」絵画コンクールの入賞作品の廻廊展示を行いました。こちらは大宮区内の小学校の夏休みの自由課題で募集し、応募された八百七作品の中から

選考された二十四作品です。入賞作品はさいたま市のホームページで御覧頂けます。



無雙直傳英信流阿字会奉納演武



十一月十日、正式参拝の後、無雙直傳英信流居合兵法阿字会の創立五拾周年記念とし、吉田典昭阿慈齋他会員による奉納演武が行われました。

七五三

七五三詣は本年も混雑を避けた分散傾向にありましたが、約一万組の方がお参りされました。皆様の健やかなる御成長を御祈念申し上げます。



敬神婦人会国旗小旗作り



十一月二十二日、敬神婦人会の会員約六十名により国旗の小旗作りが行われました。作成された二千本の小旗は一般財団法人日本文化興隆財団に送られ皇居での新年一般参賀等に活用さ

れます。

大湯祭特別紙朱印縁起物授与開始

十一月三十日より大湯祭授与品、特別紙朱印「大己貴命と福神札(金)」、「少彦名命と福熊手(銀)」、大湯祭縁起物の授与を行いました。



神宮大麻曆頒布式

十二月四日、社務所にて氏子総代の皆様にお集まり頂き、神宮大麻曆頒布式を執り行いました。



酒造組合祈願祭

十二月五日、境内の松尾神社前にて埼玉県酒造組合会長の(株)小山本家酒造代表取締役会長小山景市様はじめ三社の酒造会社様参列のもと、酒造組合祈願祭を執り行いました。



武蔵菊花会表彰式



十二月十四日、社務所にて武蔵菊花会の表彰式が行われました。

令和六年氷川神社宮司賞(敬称略)
・「南陽黄妙」 茂呂尚佑

すす払い

十二月十五日、献詠祭終了後に本殿や拝殿、楼門などのすす払いを行いました。



- ・「聖光金波」 佐藤昭次
- ・「精山春姫」 石井康友
- ・「精山春姫」 川鍋辰雄
- ・「竜白」 鈴木 旭
- ・「富士の輝」 工藤哲夫
- ・「国華幸盛」 川上治栄
- ・「彩胡花笛」 籠島忠弘

古神札焼納祭



十二月十六日、古神札の一部を前に古神札焼納祭を執り行いました。

鳥居奉納奉告祭

十二月十六日、末社の稻荷神社に鳥居の奉納を頂いた桜庭ミチエ様、山崎泰輔様御参列のもと、奉納奉告祭を行いました。



五色百人一首埼玉県大会

十二月二十二日、社務所にてNPO法人子ども夢TOSS埼玉主催の五色百人一首埼玉県大会が開催されました。



書元会廻廊展示

十二月三十一日より一月五日まで書元会学生会員の書き初め廻廊展示が行われました。小学三年生から中学三年生までの作品で兼題は「みどし」、「伝える」、「美しい空」、「強い決意」、「早春の花」、「美の追求」、「郷土の大河」でした。



『中山道大宮紀行』と江戸時代の記憶

江戸幕府の役人であった村尾嘉陵が文政二年（一八一九）に著した紀行文『中山道大宮紀行』は当時の神社の様子を知る資料として貴重なものです。

「神主の岩井伊与守の所に行つて神符を乞うと、はなだ色の木綿の四布袴を引っかけた老翁が出てきて、こちらへどうぞなどと言いながらも手間取っている。（中略）ようやく符を持ってきたので、開き拝すると、登保可美恵美多女、波羅比多満兄、幾与女多満兄と真字で書かれた符であった。尊い心持ちになって、その符を懐にし、出発する（原文ママ）。」と神社でお札を受け、感銘を受けた事を記録しています。岩井家はかつての男体社の宮司家で、左の御神札は



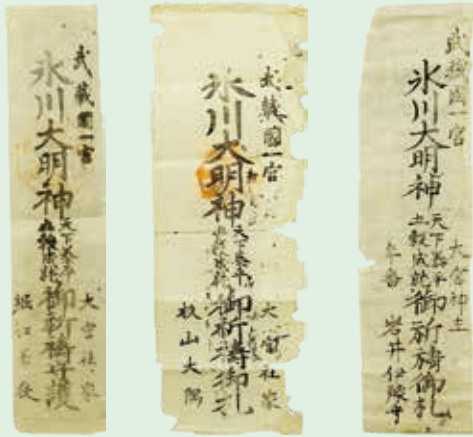
旧簸王子社社殿
(現 天津神社)



旧女体社社殿
(現 御嶽神社)

現代にも残る御嶽神社、天津神社、門客人神社社殿は寛文7年(1667)の造営、市の文化財です。

当時の年番神主であった岩井家、社人杉山家、社人堀江家によって発行されたものです。



江戸時代の御神札(資料提供…さいたま市立博物館)

分社紹介

全国に約二八〇社ある氷川神社の分社、その中から獅子舞の奉納がある分社を御紹介致します。

(田野) 氷川神社

鎮座地 山梨県甲州市

大和町田野六〇五

例祭日 四月十一日

由緒沿革

創建年月は不詳なるも説に依れば天正十年頃には祀られてあった。現在の建物は江戸時代のもので、棟札に『寛保二年壬戌十月二十八日奉遷宮大聖不動尊』とある。彫刻は簡素で上部の押上に雲形が刻んであり、左右に鳶の彫、屋根棟の左右に面が彫つてある。以前は椗皮葺であった。(山梨県神社庁ホームページより)

獅子舞

県の無形民俗文化財に指定されている田野十二神楽は、今から三六〇年ほど前の江戸時代前期から始まったと伝えられています。「十二神楽」の呼び名は、神楽の舞が十二段にわたって構成されているところから名付けられたもので、最初は獅子舞から行われます。



写真提供：甲州市教育委員会



御祭神
素盞鳴尊、国常立尊

十月の奉納献華



古流松藤会 岩波理豊
草月流 竹下尚峰
桂古流 高橋典花
春草流 栗原春彩
草月流 高山幸華

敬神婦人会湯茶接遇

十月一日、十五日、十七日、
二十一日
十一月一日、八日、十五日



十一月の奉納献華



古流松藤会 岩波理豊
桂古流 高橋典花
春草流 栗原春彩
池坊流 草谷智花
草月流 竹下尚峰
草月流 高山幸華

参道清掃奉仕御礼

参道の清掃活動を頂きました皆様の芳名を紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。(五十音順、敬称略)

- ・阿含宗埼玉道場
- ・A I G ジャパン労働組合
- ・大宮明るい社会づくりの会
- ・大宮北小学校
- ・(株)シグマスタッフ埼玉支社
- ・如月会
- ・クラーク記念国際高等学校

十二月の奉納献華



古流松藤会 岩波理豊
桂古流 高橋典花
春草流 栗原春彩
池坊流 草谷智花
草月流 竹下尚峰
草月流 高山幸華

正式参拝及び諸会議

(敬称略)

十月	十一月	十二月
二日 日曾可良善	二十八日 宇都宮市平石神社総代会(栃木)	二日 大宮新能会議
三日 神宮禰宜 廣津悟	一日 交通安全対策会議	一日 助勤説明会
六日 武蔵菊花会菊作り研修会	十五日 香取神宮総代会(千葉)	二日 武蔵菊花会監査会
七日 金刀比羅神社崇敬者研修会(福島)	十二日 鎮守氷川神社宮司 鈴木邦房	三日 氏子青年会・敬神婦人会会議
九日 埼玉県神社庁入間西支部	十日 観月雅楽演奏会	四日 助勤説明会
神社氏子総代会	十一日 無雙直傳英信流居合兵法阿字会	五日 全国神恩報賽会
	十二日 新宗連埼玉県協議会	六日 明治神宮崇敬会国分寺支部
	十三日 武蔵菊花会全体会議	七日 武蔵菊花会
	十四日 埼玉県神道青年会総会	八日 水川はたるの会
	十五日 武蔵菊花会表彰式	九日 武蔵菊花会表彰式
	十六日 立正佼成会大宮教会	十日 日本郵船氷川丸
	十七日 森沢工業	十一日 五色百人一首埼玉県大会
	十八日 武蔵野銀行頭取	十二日 立正佼成会大宮教会
		十三日 森沢工業
		十四日 武蔵野銀行頭取
		十五日 武蔵野銀行頭取
		十六日 武蔵野銀行頭取
		十七日 武蔵野銀行頭取
		十八日 武蔵野銀行頭取
		十九日 武蔵野銀行頭取
		二十日 武蔵野銀行頭取
		二十一日 武蔵野銀行頭取
		二十二日 武蔵野銀行頭取
		二十三日 武蔵野銀行頭取
		二十四日 武蔵野銀行頭取
		二十五日 武蔵野銀行頭取
		二十六日 武蔵野銀行頭取
		二十七日 武蔵野銀行頭取
		二十八日 武蔵野銀行頭取
		二十九日 武蔵野銀行頭取
		三十日 武蔵野銀行頭取

「神主さんと神社を学ぼう」

埼玉県神社庁主催の教化事業「神主さんと神社を学ぼう」が開催されます。県内神職が各事業の案内や説明を担当し、県内約二百社の御朱印展や御朱印帳作り、雅楽・神楽舞演奏、神話カレンダー原画展など様々な企画を御用意しております。クラブツリーズムと共催の講演は事前申し込みが必要となります。

また、参道では大宮グルメが集まった「氷川マルシェ」も同時開催される予定です。皆様の御来社をお待ちしております。詳細は埼玉県神社庁ホームページを御確認下さい(二月中旬掲載)。

日時 令和七年三月三十日(日) 午前九時半～午後四時半



川越氷川神社・鳩ヶ谷氷川神社との特別紙朱印「氷川神社開運めぐり」は2月22日から、春の限定お守り「咲守」、特別紙朱印「しだれ桜と神橋」は3月20日から授与を開始予定です。最新のお知らせはホームページ、SNSでお知らせ致します。



JR東日本×埼玉高速鉄道
氷川神社開運めぐり朱印紙



しだれ桜と神橋朱印紙



第三十三号は四月二十日発行予定です

発行 令和7年1月20日 発行所 氷川神社社務所 印刷所 株式会社 秀飯舎
協力 (田野)氷川神社 写真協力 宮野信昭 中村写真館 工藤裕之
さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137
<https://musashiichinomiya-hikawa.or.jp>